

## 「おたすけ」活動報告書

理学部数学科 福羅

### ・活動の概要と目的

- ・アクチュアリーという職業への理解を深める
- ・大学の授業では証明に重点を置いていることから、それとは別に具体的な問題を解決できるような知識を習得することを目指す

例えば…

ある電球の寿命は指数分布に従うことが分かっている。

いま電球の寿命の平均値を信頼係数 95% で区間推定するために、12 個の電球について  $X$  時間観測を行ったところ、観測終了時点までに寿命を迎えた 10 個の電球の寿命は次のとおりであった。 (単位:時間)

132,140,197,209,372,424,464,494,676,762

このときの区間推定の上限と下限の差が 867 時間であったとき、 $X$  に最も近い数値は□時間である。

- (A) 795 (B) 955 (C) 1099 (D) 1241  
(E) 1330 (F) 1533 (G) 1593 (H) 1658

(H27 年 数学)

このような問題が出題されています！

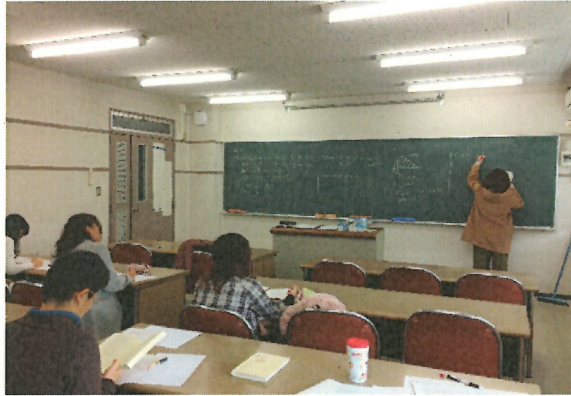
### ・どんなことをしたか

8 月～3 月に全 12 回開催し「おたすけ」の企画で購入して頂いた書籍を使い、アクチュアリー1次試験の数学、生命保険数理の科目について対策を行いました。

(上記の問題からだど、指数分布に従う？ 信頼係数？ 区間推定？…など)

※ちなみに解答はアクチュアリー会 HP にて掲載されています。

また、最終日はアクチュアリーに興味のある学生を集めてゼミ形式で講義、また試験問題を解説しました。



最終日(3月1日)のセミナーです。  
数学科の1、2回生向けに昨年の試験の解説や、アクチュアリーの仕事内容、外部のセミナーに行って感じたことなどを話しました。



#### ・感想、学んだこと

私自身、テスト対策ができた事と同時に人の生存率・死亡率・保険料などを計算で求められる点に面白さを感じ、今後も勉強を続けていきたいと思いました。

セミナーには1~3回生の数学科の学生も参加してくれ、縦との繋がりが持てたということと、こんな職業があるんだと思ってもらえるきっかけ作りができて良かったです。